

令和7年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	21	学校名	宇陀高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	榛原あいさこいさ祭り
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	総合的な探究（学習）の時間
連携・協働相手	宇陀市商工会
地域と共有している目標・課題等	地域の活性化、本校のPR活動
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>本校こども・福祉科1年生を中心に遊びコーナーを運営し、クラフトや絵本の読み聞かせなどで子どもたちとふれあいながら子どもの興味関心や言動を観察し、子どもへの接し方を学ぶ。</p>	

2. 事業の成果と課題

生徒にとって、こども・福祉科として実際に子どもたちと触れあう初めての機会であった。子どもたちの興味や想像力を考慮しながら遊びコーナーの企画をし、絵本の読み聞かせ、折り紙、魚釣りの3つのブースを実施した。多くの子どもたちが参加してくれ、どのブースでも高校生と一緒に楽しんでいる様子が見られた。特に魚釣りブースでは、魚の絵が描かれた紙を釣り上げ、自分で色を塗ってデザインし、海の中に見立てた壁に貼る、といった流れを作ったことによって、子どもたちにストーリー性をもたせて楽しみながら様々な体験をさせることに成功した。

ふれあいの中で、子どもたちの年齢や性格に合わせた声かけや関わりを経験することができた。しかし、泣き出したり大きな声を出したりする子どもに戸惑う様子も見られたため、引き続き学習・実習を通して、適切な関わり方を学ぶ必要がある。

